

指定管理者評価シート

事業名	札幌こぶし館	所管課(電話番号)	011-874-7836
-----	--------	-----------	--------------

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	札幌市こぶし館	所在地	札幌市白石区川北2254番地6
開設時期	平成8年4月1日	延床面積	588.26㎡
目的	障がい種別に関わらず、利用者一人ひとりの障がい特性に応じ、就労に必要な訓練を効果的に行うことにより、一般就労に結びつける		
事業概要	就労移行支援事業		
主要施設	作業・訓練室(3室)、静養室、相談コーナー、事務室、駐車場		
2 指定管理者			
名称	社会福祉法人 朔風		
指定期間	平成26年4月1日～平成30年3月31日		
募集方法	公募 非公募の場合、その理由:		
指定単位	施設数: 1 複数施設を一括指定の場合、その理由:		
業務の範囲	施設管理業務、施設事業計画及び実施に関する業務、施設利用承認業務、等		
3 評価単位	施設数: 1 複数施設を一括評価の場合、その理由:		

II 平成28年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価				
1 業務の要求水準達成度							
(1) 統括管理業務	<p>▽ 管理運営に係る基本方針の策定</p> <p>札幌市障がい福祉計画の中にも掲げられている「福祉施設から一般就労」を重点課題と位置づけ、また、当法人の「障がいを負ったことは不運ではあっても、不幸ではない人生を送るために」という基本理念を基に、「札幌市こぶし館」の事業内容に照らし合わせて、下記の事業目標等を設定した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 企業実習等の実践的な訓練の積み重ねから就労へ繋げる 2. 「働く」だけでなく、「生活」にも着目していく 3. 一人一人の想いを大切にする <p>▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績</p> <p>札幌市こぶし館を利用希望する方が公平に利用できるように、見学希望の方や体験利用希望の方に対しても可能な限り対応している。それにより、相談室や病院等からの問い合わせも増えてきている。また、地域の高校とも進路相談や情報交換等のやり取りも若干ではあるが行われ、事業所の認知度が高まったと思われる。</p>	<p>年間を通して安定的に、4企業様での職場実習の機会を提供した。年度内の就職者は2名(内A型事業所1名)と予定より少なくなったが、次年度に複数名の利用者が就職予定となっている。</p> <p>年度内新規利用者は昨年度より増え11名(内就労アセスメント者2名含む)だった。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>・基本方針に則り、適正に管理運営がなされている。</p> <p>・年間を通して安定的に4企業での職場実習の機会を提供するほか、年度内新規利用者が前年度に比べて増加している点については評価できる。</p>	A	B	C	D
A	B	C	D				

▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進

札幌市生活環境の確保に関する条例を順守し、利用者の活動に支障をきたすことの無い範囲で照明の間引きや使用後の各部屋の消灯の徹底等の電力量削減や、冬期間の灯油等の燃料消費量の削減に努めてきた。また事業所での出るごみの量の軽減を図るため、リサイクル可能なゴミ(雑紙・古紙等)の分別を徹底した。

職員・利用者ともに、ミーティング等で、省エネやごみ分別等の環境問題について意識の徹底を行い軽減に努めた。

▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)

業務分担については分担表を作成し、職員全員が役割分担を割り当てて行う。また各種マニュアルを作成し、緊急時の対応や日常的な伝達システムを全体周知をする。人材育成に関しては、利用相談含めてニーズが多様化してきている自閉症スペクトラムに関する事業所内研修(計3回)を行ない、館内の環境整備について職員間で検討する機会を設けてきた。また業務に関連する外部研修にも複数回職員を派遣している。

業務分担を明確化することで、効率的に業務を遂行できている。会議等で課題を提示することで、職員間で改善案を協議する等、自発的な取り組みも見られるようになってきている。

▽ 管理水準の維持向上に向けた取組

札幌市障がい福祉計画との整合性を図り、公の施設であることを自覚し、公平・公正な利用に供するように管理運営を行うように努めました。毎朝夕のミーティングは勿論の事、月一で利用者の個別支援計画進捗状況等に関するサービス担当者会議と、事業所運営に関する運営会議を開催し、情報共有と支援の統一化を図るよう努めた。

情報共有を大切にし、支援や対応の不備が生じないように努めた。

▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)

1. 自家用電気工作物保安管理(電気保安)
2. 消防用設備(火災報知機)設備定期点検
3. 夜間及び休日等警備 等

特に問題は見られない。

監督及び履行確認は徹底してきた。

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)

開催回	協議・報告内容
第1回	H29. 3. 7 運営協議会開催 ・札幌市こぶし館の現状と課題 ・アンケートの結果について
<協議会メンバー>	
社会福祉法人義弘会 障がい者支援施設光友会施設長、札幌市障がい福祉課運営指導係係長・担当、札幌市こぶし館利用者代表・保護者代表、法人常務理事、札幌市こぶし館施設長・主任	

札幌市こぶし館の現状と課題について利用者アンケートを基に協議を行う。個別ニーズが多様化することによるサービス内容や対応の在り方について、現状を報告し、参加された方から多くのアドバイスをいただきました。

▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)

	<p>・法人の定める事務規定・経理規程に則り行う。 ・法人監査と外部監査を実施。 ・現金の取り扱いについては、経理規程及び経理規程細則により取扱ことのできる範囲を定め行う。</p> <p>▽ 要望・苦情対応</p> <p>・法人の「苦情解決システムに関する規定」により、解決のための体制、方法を定めている。 施設玄関前スペースにご意見ポストと専用用紙を設置し、ご意見や苦情等を発信しやすいように対応する。</p> <p>利用者と保護者より下記の2点についてご意見を頂戴し、速やかに対応している。</p> <p>1. 利用者増に伴い本来の目的とは違う利用をしている方がいるのでは？ → 就労移行支援事業所の役割を説明し理解を得る。</p> <p>2. コピー用紙の裏紙使用について個人情報の含まれているものもあるのではないかと？ → 職員に裏紙使用に際して個人情報が含まれていないか十分配慮するように徹底</p> <p>▽ 記録・モニタリング・報告・評価（記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施） 個別支援計画に沿って3ヶ月に1度のモニタリングと計画の見直しのための三者面談を行う。また、個別支援計画の進捗状況については毎月サービス担当者会議を開催して、職員間で情報の共有を図り、就労に向けた適切な支援を行っている。</p>	<p>法人本部と連携して適正に取り組んでいる。</p> <p>ご意見いただいたことに関しては、職員間で話し合いを行い改善に努めた。</p> <p>モニタリング等は、計画通り行っている。</p>	
<p>(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p>	<p>▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p> <p>・職員の雇用に関しては、労働基準法、労働安全衛生法、労働災害補償保険法、健康保険法、男女雇用機会均等法、育児・介護休業法等の施設の管理運営に関する労働関係法令を遵守し、就業規則その他の必要な規定等を整備するとともに、必要な届出を監督官庁に届けに行っている。</p> <p>・雇用環境については、より質の高い仕事や生活が実現できるように、働きやすい環境づくりに努めてきた。</p>	<p>雇用環境を整備し、働き甲斐のある職場づくりを心掛けている。</p>	<p>A B C D</p> <p>・仕様書に基づき、適正に施設の維持管理がなされている。</p>
<p>(3)施設・設備等の維持管理業務</p>	<p>▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)</p> <p>施設内作業は勿論のこと、施設外での企業実習等も積極的に行っていることから、万が一の事故に対応するマニュアルの整備や安全管理を徹底してきた。保険関係も加入しているが、大きなけがや事故の発生はなかった。また、緊急時等の連絡先を利用者や保護者に公開し、夜間や休日における緊急時対応についても整備している。</p> <p>▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)</p>	<p>大きなけがや事故が発生することもなく、緊急時の連絡体制も問題なく行っていた。</p>	<p>A B C D</p> <p>・仕様書に基づき、適正に施設の維持管理がなされている。</p>

	<p>・館内の美化については、就労移行支援の作業訓練の一環と位置付け、毎日の通常清掃と定期的な特殊清掃（ワックスかけ等）も利用者と職員で行っている。</p> <p>・倉庫等にあった大型ゴミを撤去できたことにより、館内の整理整頓に繋がった。</p> <p>・保守点検に関しては、業務委託している。（自動ドア、警備、消防設備、等）</p> <p>▽ 防災</p> <p>・自衛消防隊を結成し通報、避難誘導、消火等の役割分担の明確を明確化した。</p> <p>・4月16日 札幌市民防災センターでの消火訓練・地震体験等を実施し、10月29日 札幌市こぶし館内における避難訓練と消火訓練を行う。</p>	<p>・これまで自動ドアの部品交換等行っておらず劣化しており、近々の課題となっている。</p> <p>避難訓練では、慌てた様子もなくスムーズに行えた。</p>													
<p>(4) 事業の計画・実施業務</p>	<p>▽ 就労に関する学習機会の提供業務</p> <p>・1年を通して施設内作業は勿論の事、企業実習等の実践的な作業訓練機会を多く取り入れた。（4企業様）</p> <p>・作業訓練以外にも、履歴書作成練習、ルールやマナー等の講座も多く取り入れ、職場見学も複数回行った。</p> <p>▽ 就労に関する情報収集及び提供業務</p> <p>・ハローワークを訪問し、求人票の基本情報収集の方法や窓口での対応を通じて、様々な職種があることを知る機会を設けた。</p> <p>・合同面接会にも参加し、就労に関する各種情報収集を行った。</p> <p>▽ 利用に関する相談業務</p> <p>・1年間で電話や来所での相談や見学等を含めると延べ59件の相談対応を行った。そのうち7名の方が年度途中での利用に繋がっている。また学校等の長期休暇期間を使用した就労アセスメントを2件対応している。相談室や学校等以外にも病院関連からの問い合わせも増えてきている。</p>	<p>企業実習での実践的な取組と、講座による基本知識の再確認を行うことは、効果的だった。</p> <p>関係機関との連携により、様々な情報を収集することができ、サービスの向上につながっている。</p> <p>就労支援だけでなく、生活支援の重要性も増え、相談室と連携して対応するケースが多くなってきている。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>・企業実習の積極的な導入など、実践的訓練を進めている点は評価できる。</p> <p>・関係機関との連携を図りながら、利用者増を図る取り組みを進めている点も評価できる。</p>	A	B	C	D								
A	B	C	D												
<p>(5) 施設利用に関する業務</p>	<p>▽ 利用件数等</p> <p>・利用者数 平成28年度目標20名 （実績15名75%達成）</p> <table border="1" data-bbox="491 1713 922 1803"> <thead> <tr> <th>年度始在籍者</th> <th>年度途中利用開始</th> <th>年度中の退所者</th> <th>年度末在籍者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8名</td> <td>7名</td> <td>6名</td> <td>9名</td> </tr> </tbody> </table> <p>※就労アセスメント2名は上記に含まれていない</p> <p>・就職者数 平成28年度目標10名 （実績1名 10%達成）</p>	年度始在籍者	年度途中利用開始	年度中の退所者	年度末在籍者	8名	7名	6名	9名	<p>利用者数・就職者数ともに予定以下の実績となった。次年度に向けて大きな課題となっている。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>・利用者数、就職者数ともに計画を下回るものの、新規の利用者の獲得及び就職に向け積極的に取り組む姿勢は評価できる。</p>	A	B	C	D
年度始在籍者	年度途中利用開始	年度中の退所者	年度末在籍者												
8名	7名	6名	9名												
A	B	C	D												

(6)付随業務	<p>▽ 広報業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報さっぽろに年1回利用者募集の記事掲載。 ・事業所のホームページを開設し情報のPRを行い、年度後半にはフェイスブックも始め、様々な取組についてお知らせしている。 <p>▽ 引継ぎ業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	<p>より積極的な広報活動をおこなっていく。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td colspan="4"> <p>・ウェブ媒体を利用した広報活動は評価できる。</p> </td> </tr> </table>	A	B	C	D	<p>・ウェブ媒体を利用した広報活動は評価できる。</p>								
A	B	C	D													
<p>・ウェブ媒体を利用した広報活動は評価できる。</p>																
<p>2 自主事業その他</p>																
<p>▽ 自主事業</p> <p>自主事業は行っていない。</p> <p>▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所封筒等の印刷物を市内企業や福祉事業所に依頼。 ・元気ジョブを通じて、施設内作業の確保(2社より作業依頼) 	<p>継続していく。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td colspan="4"> <p>・適正に事業を実施している。</p> </td> </tr> </table>	A	B	C	D	<p>・適正に事業を実施している。</p>									
A	B	C	D													
<p>・適正に事業を実施している。</p>																
<p>3 利用者の満足度</p>																
<p>▽ 利用者アンケートの結果</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="252 1016 363 1218"> <p>実施方法</p> </td> <td data-bbox="363 1016 979 1218"> <ul style="list-style-type: none"> ・調査期間 平成27年11月14日～25日までの12日間 ・対象者 札幌市こぶし館利用者(11名) ・調査方法 アンケートを配布し回答後に提出 ・回収率 100% </td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 1218 363 1783"> <p>結果概要</p> </td> <td data-bbox="363 1218 979 1783"> <ol style="list-style-type: none"> 1. 建物や設備の利用のしやすさ 「大変利用しやすい・利用しやすい」合わせて73% 2. 札幌市こぶし館職員の対応 「大変よい・よい」合わせて64% 3. 作業内容の満足度 「大変満足している・満足している」合わせて82% 4. こぶし館行事の満足度 「大変満足している・満足している」合わせて73% 5. 生活相談に対する支援に満足度 「大変満足している・満足している」合わせて64% 6. こぶし館の総合的な満足度 「大変満足している・満足している」合わせて64% </td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 1783 363 1957"> <p>利用者からの意見・要望とその対応</p> </td> <td data-bbox="363 1783 979 1957"> <ul style="list-style-type: none"> ・他人との接し方が分からないので教えてほしい ・人により対応が違う場合がある <p>※利用者の障がい種別やニーズが多様化したことで、感じ方・受け止め方に差が生じており、職員会議等にて話し合いの機会を多く持ち改善に努めた。</p> </td> </tr> </table>	<p>実施方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・調査期間 平成27年11月14日～25日までの12日間 ・対象者 札幌市こぶし館利用者(11名) ・調査方法 アンケートを配布し回答後に提出 ・回収率 100% 	<p>結果概要</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 建物や設備の利用のしやすさ 「大変利用しやすい・利用しやすい」合わせて73% 2. 札幌市こぶし館職員の対応 「大変よい・よい」合わせて64% 3. 作業内容の満足度 「大変満足している・満足している」合わせて82% 4. こぶし館行事の満足度 「大変満足している・満足している」合わせて73% 5. 生活相談に対する支援に満足度 「大変満足している・満足している」合わせて64% 6. こぶし館の総合的な満足度 「大変満足している・満足している」合わせて64% 	<p>利用者からの意見・要望とその対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・他人との接し方が分からないので教えてほしい ・人により対応が違う場合がある <p>※利用者の障がい種別やニーズが多様化したことで、感じ方・受け止め方に差が生じており、職員会議等にて話し合いの機会を多く持ち改善に努めた。</p>	<p>アンケートに対して率直に意見を出していただいたことで、職員が日頃気づけていなかった面を改善するいい機会となりよかった。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td colspan="4"> <p>・要求水準を下回っている。</p> </td> </tr> </table>	A	B	C	D	<p>・要求水準を下回っている。</p>			
<p>実施方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・調査期間 平成27年11月14日～25日までの12日間 ・対象者 札幌市こぶし館利用者(11名) ・調査方法 アンケートを配布し回答後に提出 ・回収率 100% 															
<p>結果概要</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 建物や設備の利用のしやすさ 「大変利用しやすい・利用しやすい」合わせて73% 2. 札幌市こぶし館職員の対応 「大変よい・よい」合わせて64% 3. 作業内容の満足度 「大変満足している・満足している」合わせて82% 4. こぶし館行事の満足度 「大変満足している・満足している」合わせて73% 5. 生活相談に対する支援に満足度 「大変満足している・満足している」合わせて64% 6. こぶし館の総合的な満足度 「大変満足している・満足している」合わせて64% 															
<p>利用者からの意見・要望とその対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・他人との接し方が分からないので教えてほしい ・人により対応が違う場合がある <p>※利用者の障がい種別やニーズが多様化したことで、感じ方・受け止め方に差が生じており、職員会議等にて話し合いの機会を多く持ち改善に努めた。</p>															
A	B	C	D													
<p>・要求水準を下回っている。</p>																

4 収支状況

▽ 収支 (千円)				A	B	C	D
項目	H28計画	H28決算	差(決算-計画)				
収入	37,430	37,238	▲ 192	平成28年度はほぼ当初計画どおりの収支で決算を終えました。平成28年度も本部会計から1400万円の繰入が必要となりました。こぶし館単体での決算としては、非常に厳しい決算で、法人全体の収支を圧迫する結果となっております。			
指定管理業務収入	37,430	37,238	▲ 192				
指定管理費	0	0	0				
給付費	23,340	23,154	▲ 186				
利用料金	0	0	0				
拠点区分間繰入(法人本部より)	14,000	14,000	0				
その他	90	84	▲ 6				
就労生産事業収入	2,207	2,217	10				
自主事業収入	0	0	0				
支出	37,910	37,466	▲ 444				
指定管理業務支出	37,910	37,466	▲ 444				
就労生産事業支出	3,117	3,121	4				
自主事業支出	0	0	0				
収入-支出	▲ 480	▲ 228	252				
利益還元	0	0	0				
法人税等	0	0	0				
純利益	▲ 480	▲ 228	252				

▽ 説明

平成28年度は、最大で利用者数が14名まで増えました。就職者数は、一般企業へ1名、A型事業所へ1名でした。指定管理を受けて3年が経過しましたが、以前赤字決算からは脱却できず、本部会計より多額の繰入をしてもらっております。施設の場所的な不利要素は否めず、送迎も行っておりますが、厳しい収支状況であります。

<確認項目> ※評価項目ではありません。		
▽ 安定経営能力の維持 利用者確保と利用者数の増加を最優先課題とし、収入を増やして、経営基盤の安定を図り、法人本部会計からの繰入を最小限に抑え、経営努力を行った。また同時に経費削減と効率化を念頭に収支改善を徹底した。	学校や各種企業や関連団体と連携して利用者の確保と収入増加の道筋をつけた。	適 不適 ・法人本部から繰り入れを受けながらではあるが、安定した経営を保持している。 ・法人全体では安定した経営を保持している。
▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応 各条例の規定により、適切に対応している。		適 不適 ・各条例を順守し、適正に対応している。

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
<p>・毎年課題となっている利用者確保に関しては、少しずつ認知度も上がり最大で15名になるときもあったが、多様な障がい特性があり個別対応を要する方も多かったため、結果的には利用を途中で断念される方もおり、事業所として特性に応じた支援の質を確保できなかったことが反省点として挙げられる。傾向として二次的なものも含め、精神の障がいがある方のニーズが高くなってきており、我々の専門性が求められている。</p> <p>・前年度末で5名の方が一般就労をした影響もあり、今年度は利用期間1年未満の方が多く、すぐ就職を目指すのではなくストレス等による心身の不調を整えることに主眼を置いた支援が中心となり、就職者数は前年を大幅に下回っている。しかし次年度には複数名の方が就労希望をしており、今年度基礎を固めたことにより多くの方が就労に繋がると思われる。</p>	<p>1. 運営4年目で基本期間の最終年度と言うことから、これまでの経験を踏まえ初心に戻り下記の取組に力を入れたいと思います。</p> <p>1) 利用される方それぞれの個性を大切に支援を心掛ける</p> <p>2) 企業実習等の実践的な活動を中心に行い、働く意欲・体力・精神力・基本的なルールやマナーを体感していただけるよう心掛ける</p> <p>3) 高等支援学校のみならず、地域の高校や専門学校等との新たな関係構築を図り、就労支援体制を構築する</p> <p>2. 公の施設としての自覚と責任感を持ち、必要とされる事業所を目指す</p> <p>1) 利用相談・見学等、様々なお問い合わせに対して親切丁寧な対応を心掛ける</p> <p>2) フェイスブックを中心に活動内容等の広報活動を積極的に行い、広く知っていただけるように努力する</p>

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
<p>法人本部から繰り入れを受けつつも人員を手厚く配置していることや、利用者の個々の特性を把握したきめの細かい支援を行っていること、年度内新規利用者が前年度に比べて大幅に増えていることが高く評価できる。また、関係機関との連携や広報活動の強化を進めている点についても評価できる。</p>	<p>新規利用者のさらなる確保や、一般企業への就労実績の向上を図ることが求められる。</p>